OpenModelica勉強会 OpenModelicaとModelica概要

2024年4月9日

足利大学工学部創生工学科 電気電子分野 西 剛伺

シミュレーションとは



シミュレーション(simulation)とは・・・

「現実の世界で起こっている現象を数学モデルで記述して、その仮想空間の中で起こる現象をコンピュータを駆使して解き、結果を可視化などの手法により表示して、あたかもその解が現実空間で起こった事象であるかのごとく見せる手法である.」

以下の書籍から抜粋:

『工学シミュレーションの品質保証とV&V』 (ISBN978-4-621-08628-5)

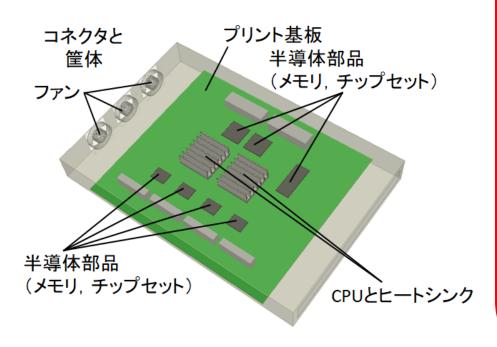
モデル化 (モデル作成) ソルバ実行 (3次元ではメッシュ 生成+ソルバ実行)

可視化

モデル化の例



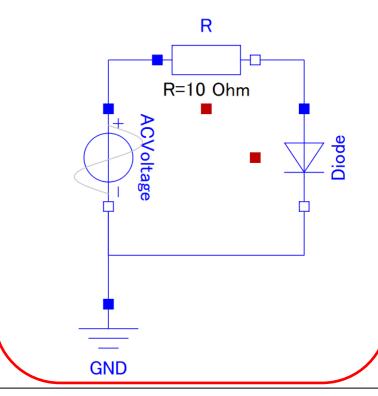
現象を数学モデルで記述.<3次元モデルの作成>実際の形状をそのままモデル化.



OpenModelica

<概念モデルの作成>

形状ではなく、概念をモデル化.



概念をモデル化とは?



例えば、抵抗の場合、











概念のモデル化では, 形状には関係なく, モデル化する対象の 役割を数式で表す.

抵抗の役割は抵抗値 を有し、以下の関係を 成り立たせること.

V = RI

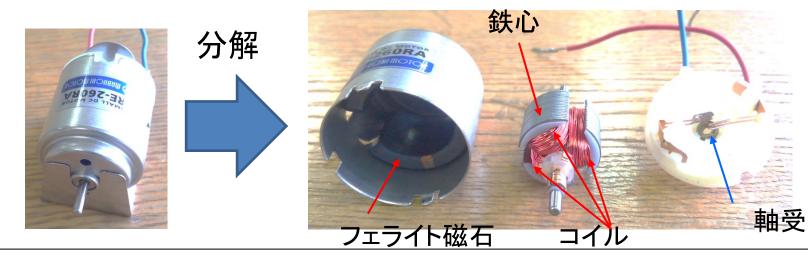
概念モデルの例:モータ



モータは円筒形状をしているが、「等価回路」表現では、特性を有する回路素子を用いてモデルを 様成.

Ra
R=R
R=R
GND

以下の写真のような直流モータは, 右図のような等価回路で表現される.



回路シミュレーションと言えば・・・



回路シミュレーションと言えば、SPICE(スパイスと読む)が有名.

米国カリフォルニア大学バークレー校で開発され、 SPICE3(1985年)まで開発される.

有名なSPICEソフトウェアはPSPICEがある. その他、フリーで使えるものとしては、LTSPICEが有名.

※ SPICEはSimulation Program with Integrated Circuit Emphasisの略.

回路の特性は電気だけ?

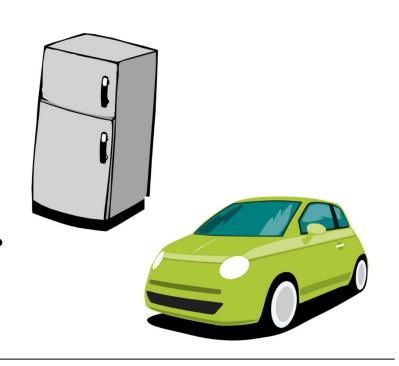


半導体の特性は温度等,電気以外の要因にも依存する.また,半導体を単体で使用することはほぼない.

→ マルチドメインシミュレーション環境の必要性

例えば, •••

- 冷蔵庫の消費電力を最小化するには?
- 自動車の
 - 燃費を最大化するには?
 - 実用上の安全性を担保するには?



マルチドメインを扱えるツール



マルチドメインを扱える主なツールは以下の通り.

MATLAB/Simulink

Mathworks社 独自の環境

制御に定評 ライセンスが必要

VHDL-AMS

電気回路から拡張された 標準モデル記述言語

複数の商用ソフトウェア ライセンスが必要

Modelica

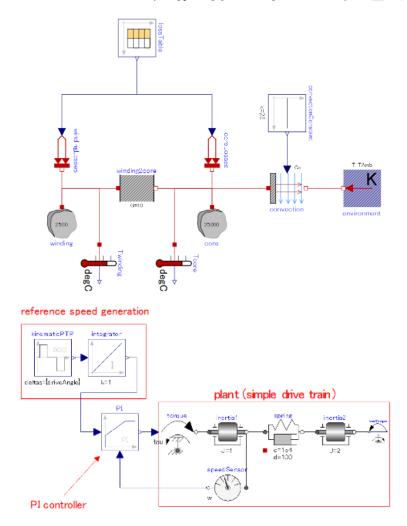
プラントモデルに強い 標準モデル記述言語

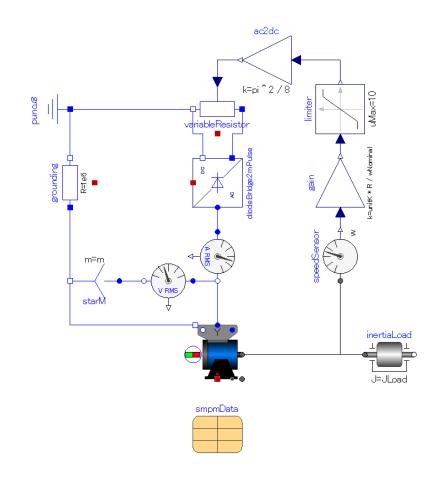
複数の商用ソフトウェア オープンソースもあり

Modelicaモデルの例



Modelicaは、複雑な物理系を効率的にモデル化するのに便利.

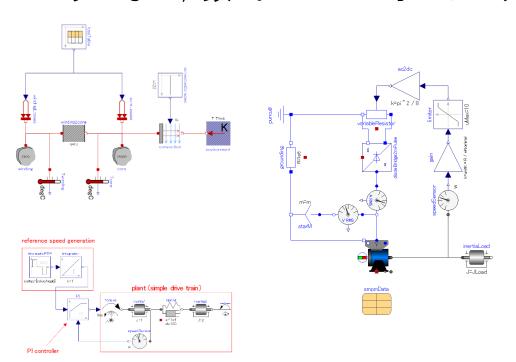




Modelicaとは?



Modelicaは、複雑な物理系を効率的にモデル化するための、プロプラでない、数式ベースのオブジェクト指向言語である.







Modelica® – A Unified Object-Oriented Language for Systems Modeling

Language Specification

Version 3.6

March 9, 2023

Modelica Association

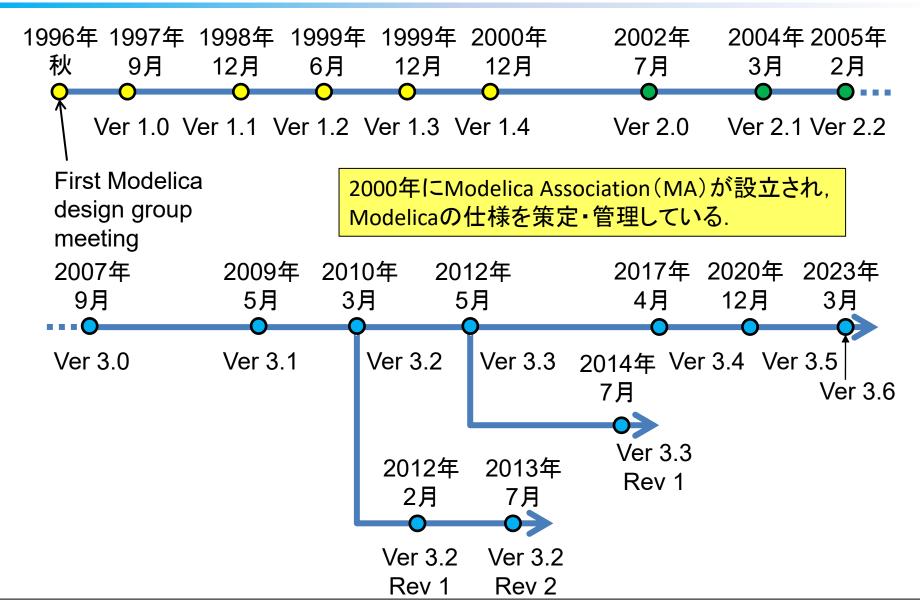
Abstra ct

This document defines the Modelica ¹ language, version 3.6, which is developed by the Modelica Association, a non-profit organization with seat in Linköping, Sweden. Modelica is a freely available, object-oriented language for modeling of large, complex, and heterogeneous systems. It is suited for multi-domain modeling, for example, mechatronic models in robotics, automotive and aerospace applications involving mechanical, electrical, hydraulic control and state machine subsystems, process oriented applications and generation and distribution of electric power. Models in Modelica are mathematically described by differential, algebraic and discrete equations. No particular variable needs to be solved for manually. A Modelica tool will have enough information to decide that automatically. Modelica is designed such that available, specialized algorithms can be utilized to enable efficient handling of large models having more than one hundred thousand equations. Modelica is suited and used for hardware-in-the-loop simulations and for embedded control systems. More information is available at https://modelica.org.

Modelica is a registered trademark of the Modelica Association

Modelicaの変遷





Modelicaの特長



Modelicaには、以下のような特長がある.

- 方程式を記述できる.
- 単位の概念を有し、電気、構造、磁気、流体、熱といった異なるドメインを連成して解くことができる.
- 言語仕様にGUI(アイコン、ダイアグラム)が規定されており、GUI環境でコンポーネントを接続することでモデルを作成できる.
- 有償、無償のライブラリを活用することで、検証済みのさまざまのコンポーネントを利用できる。
- クラスの概念をベースとしており、新たな機能を追加したモデルを継承によって簡単に作成できる.



Modelicaは方程式をサポートすることで、非因果的モデル化を可能にしている.

因果的(causal):入力と出力の関係が決まっている.



物理現象等のモデル



非因果的(acausal):入力と出力の関係は時と場合によって変わる.



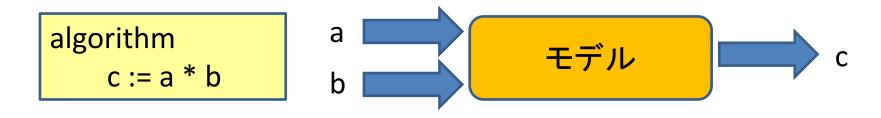
物理現象等のモデル



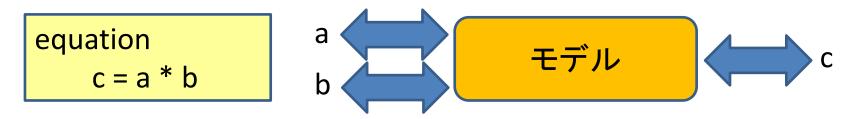
因果的と非因果的2 ※ 足利

Modelicaは方程式をサポートすることで、非因果的モデル化を可能にしている.

因果的(causal):入力と出力の関係が決まっている.



非因果的(acausal):入力と出力の関係は時と場合によって変わる.



Modelica Standard Libra 足利大学

Modelica Standard Library(以下, MSL)は, Modelica Associationが提供する無償のライブラリ.

電気、磁気、機械、流体、熱の物理ドメインごとにサブライブラリ構成を採っている.

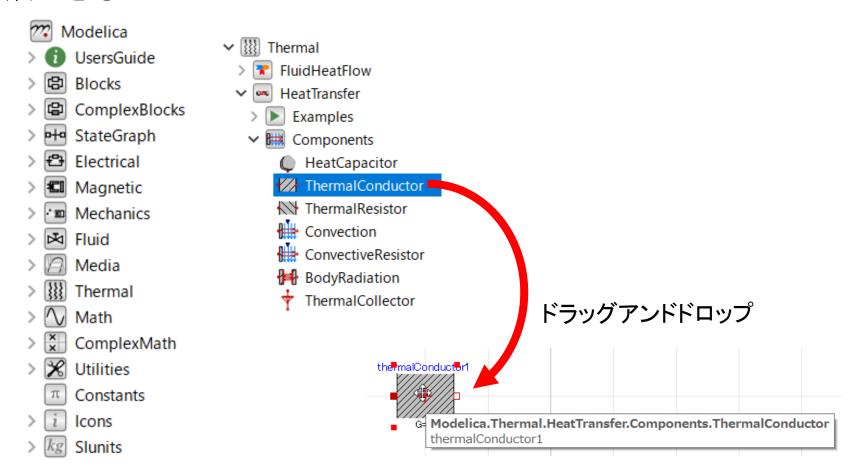
https://github.com/modelica/ModelicaStandardLibrary

- 🗸 🚾 Modelica
- > 10 UsersGuide
- > 🖪 Blocks
- > 🖪 ComplexBlocks
- > 🕲 Clocked
- > ा StateGraph
- > 🗗 Electrical
- > 🖪 Magnetic
- > <a> Mechanics
- > 🔼 Fluid
- > Media
- > IIII Thermal
- > 🔽 Math
- > ComplexMath
- > X Utilities
 - **π** Constants
- > i Icons
- > kg Units

GUIベースのプログラミング



Modelicaでは、コンポーネントを組み合わせることでモデルを作成できる.



Modelicaプログラムの例



OMEditを用いて作成したモデルは、プログラムとして保存される.

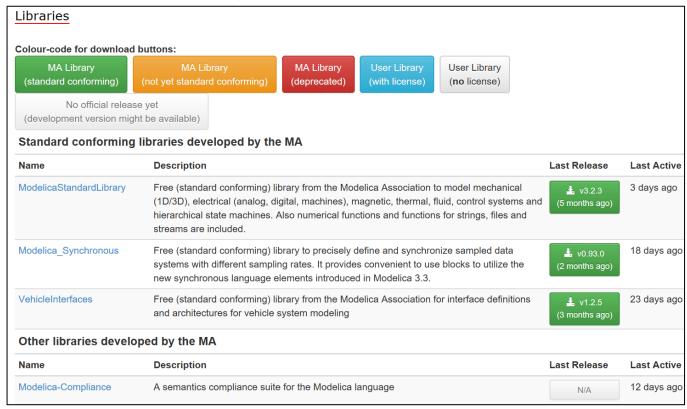
```
model ThermalNetwork01
 Modelica.Thermal.HeatTransfer.Sources.FixedHeatFlow HeatSource(Q flow = 10)
annotation(...);
 Modelica.Thermal.HeatTransfer.Components.ThermalResistor Rth(R = 5)
annotation(...);
 Modelica. Thermal. Heat Transfer. Components. Heat Capacitor Cth(C = 3, T(displayUnit = 1))
"degC", fixed = true, start = 298.15)) annotation(...);
 Modelica. Thermal. Heat Transfer. Celsius. Fixed Temperature TA(T = 25) annotation (...);
equation
 connect(HeatSource.port, Rth.port a) annotation(...);
 connect(HeatSource.port, Cth.port) annotation(...);
 connect(Rth.port b, TA.port) annotation(...);
                                                                   書き込み可能
                                                                                Model
                                                                キストビュー
annotation(...);
end ThermalNetwork01;
```

さまざまなModelicaライブラリ



Modelicaには、Modelica言語を使用して記述されたオープンソースもしくは商用のライブラリが存在する.

https://www.modelica.org/libraries



※ 2019年6月8日現在のキャプチャ

OpenModelica



OpenModelicaはオープンソースのModelicaを用いたモデル化シミュレーション環境. モデルの作成, 実行, 結果の表示まで行うことができるいわゆる統合環境である.

OpenModelica Connection Editor (OMEdit)では, GUI上で一連の作業を行うことが出来る.



OpenModelicaの入手



無償でダウンロードし利用できる. 現在の最新版は, v1.22.3.

以下のリンクからダウンロード可能.

(OpenModelica_v1.22.3-64-bit.exeをダウンロード.)

https://build.openmodelica.org/omc/builds/windows/releases/1.22/3/64bit/

OpenModelicaインストール時の注意点 ぬ足利大学

OpenModelicaは、全角文字を認識しないため、使用 するWindowsユーザアカウントは半角(英数字等)で作 成されたものに限る.

その他、インストールの詳細は 「はじめてのOpenModelica」 ISBN 978-4-7775-2152-4 の第1章を参照。

